

学校関係者評価報告書（平成30年度）

平成30年度の学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：平成30年10月17日（水）

学校関係者評価委員：

関係企業委員2名、有識者委員2名、卒業生委員1名（計5名）

評価	評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標 教育理念・人材育成目標ともに、しっかりと定められている。	
(2)学校運営 学園全体で共通の意思決定をおこなうことで競合他校に負けない経営を実践している。	
(3)教育活動 カリキュラム検討委員会を設置し、新技術への対応、アクティブラーニング導入などグループのスケールメリットを活かした教育体制が確立しており、高く評価できる。	実務とのギャップを知るためにもインターンシップの積極的参加を推進して欲しい。 また、日常で扱われるようになってきたタブレットを活用した授業を期待する。
(4)学修成果 在校生に対する資格・就職および休退学防止に対する取り組みを高く評価する。	卒業生の離職率を評価対象にするなど、卒業生の動向把握と企業連携がより良くなる仕組みづくりを期待する。
(5)学生支援 十分な支援がなされており、特に改善項目はない。	卒業生の動向についても把握できる仕組みづくりを期待する。

<p>(6)教育環境 防災に対する体制面について、改善方針のとおり引き続き検討を期待する。</p>	
<p>(7)学生の受入れ募集 全体的によく取り組んでおり、特に改善項目はない。</p>	<p>在校生の資格取得や就職内定など高校への状況報告などきめ細かな対応が安心できるので、引き続き情報提供を期待する。</p>
<p>(8)財務 全体的によく取り組んでおり、特に改善項目はない。</p>	<p>地域の人材育成、学修の場の提供のためにも、健全な学校経営を継続してほしい。</p>
<p>(9)法令等の遵守 全体的によく取り組んでおり、特に改善項目はない。</p>	
<p>(10)社会貢献・地域貢献 全体的によく取り組んでおり、問題はない。</p>	<p>今後も 2020 年のプログラミング教育導入に向け教諭対象の講座や、小中学生への IT 講座などを開催し、地域貢献に取り組んでもらいたい。</p>

以上